

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 159 2013.12.22 連絡先 402-1622 >

はじめまして、加藤なおとです



みなさん！はじめまして

次期、和歌山市区の県議会議員選挙で藤井健太郎さんの後任として立候補する加藤なおとです。

私はこれまで障害者福祉の現場で働いてきました。障害を持つ方と作業所で仕事をしたり、就労の場を斡旋するなどの相談活動をしてきました。不況となれば真っ先に解雇され、作業所で働く工賃は月額1万円程度、家族と同居しないと暮らせず高齡の親が障害の子を介護する老障介護の実態、

障害ゆえの差別も多く見られます。障害のある方の労働、生活、社会参加すべての面で社会の歪みを受けていると強く感じてきました。

今、政府は自立自助を前面に押し出してきました。和歌山でも国の方針に従うなら障害のある人にとって生活が追いつめられてしまいます。

「障害者を締め出す社会はもろくて弱い社会だ」と32年前の国際障害者年は宣言しました。

今、私は障害者問題を通じて、さまざまな困難を持つ人にとって社会福祉、社会保障が権利として保障される和歌山をつくりたいと思っています。

2015年の春の和歌山市区の県議会選挙で日本共産党の議席を2つにするために皆さんと共に頑張りたいと思います。どうかよろしく願いいたします。

みち子のひとりごと 思いがけず

日本中に広がる連帯感、素敵な気持ちだと思



「そのバッチはどこで手に入れたのですか？」
「たしか、去年の原水禁大会だったと思います。」
「うちの娘が作ってまして、なつかしいので写真撮ってもいいですか？」
「もちろんどうぞ！」
突然のことではびっくりしたのと、分科会が始まりました。分科会が始まりました。詳しくお話ししないままに別れてしまいました。
日本中でいろんな形で意思表示されたことが、それが缶バッチ一つでも

たしか去年の夏の原水禁世界大会のときに買った原発ゼロを求めると缶バッチ、ずっと手提げかばんにつけたままにしてありました。今年の平和大会の分科会で、斜め後ろの席の人から声をかけられました。

ひめだ高宏議員の一般質問

ひめだ高宏議員は、市長の退任表明と予算編成の責任について質しました。市長は児童女性会館やほうらい荘の事業を来年度予算に計上しないとしましたが責任を持って方向性を示すべきと求めました。市長は自身の責任で結論を出すと答弁しました。

また、スカイタウンのテニスコートは市が作って委託料を払い管理運営させるのに比べ、ほうらい荘は更地を賃貸し市民が使える浴場と貸室を含む建物は事業者で作らせ、管理運営費も払わないというもので、応募がなかったことから、市の高齢者の施設に対する考えを質し、市の負担で建設することを求めました。

さらに、元気70パスのバスカード紛失の際の再発行を求めました。市は、バス会社と交渉中と答えました。

南畑幸代議員の一般質問

南畑幸代議員は、和歌山労働局が11月に県内の6割以上の介護事業所で、有給休暇の未付与や就業規則の未整備など労働条件に問題があると調査結果を報告したことを紹介して、若者の労働実態と必要な取り組みについて質問しました。また、労働法の理解を広く普及する取り組みとして川越市では労働・雇用パンフを作り市立高校や成人式で配布していることから和歌山市でも同様の取り組みをすることを提案しました。

南畑議員は、高すぎる国保料の引き下げについて、市はこれまで累積赤字を理由に拒否してきたと指摘し、累積赤字が解消された今こそ引き下げるべきだと、引き下げを求めました。



渡辺忠広議員の一般質問

渡辺議員は、安倍内閣がTPP参加を前提として、40年間継続された米価格維持、生産量確保を目的としてきた「減反政策」を今後5年間で廃止し、主食であるコメを自由化市場に委ねようとしていることについて、市長の見解を問い、TPP参加撤退の申し入れを行うことと農業振興条例の制定を求めました。

また、市内に数多くある道標（みちしるべ）が調査研究されないまま放置され風化のため文字が判読できなくな



っていることを指摘し、市の指定文化財とすべきではないかと質問しました。さらに、地域のボランティアを募り市民の力を借りて調査することを提案しました。

森下佐知子議員の一般質問

森下議員は、和歌山市の就学援助制度の基準額が中核市水準で見ても県下の水準で見ても低いことを指摘し、市長も教育長もそのことをよく知りながら改善していないことから、新年度での見直しを迫りました。市長は引き上げたい思いはあるとしながらも引き上げるとは言いませんでした。

森下議員は、2001年度末に地域改善対策の特別法が終了したあとも、和歌山市が引き続き実施している旧同和対策について、特別な地域に特別な対策を市が続けることで、市が市民の間に壁を作っていると指摘し、旧同和対策事業の終了を求めました。

